

マルチサイエンス 発表会用 ルーブリック 〈教員用〉

項目	観点	評価基準 各 5 点						
		5点	4点	3点	2点	1点		
①	提示資料	知 技	文字やグラフの大きさ・配色・配置等が適切で、極めて見やすい。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等が適切である。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等がおおむね適切である。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等がやや不適切である。	文字やグラフの大きさ・配色・配置等が不適切で見にくい。	
②	発表態度	原稿	主 体 的	原稿に頼らず自分の言葉で発表している	一部原稿を参照する場面も見られるが、自分の言葉で発表している。	半分程度は原稿を見ながら発表している。	ほとんどの場面で原稿やスライドに書かれてあることを読み上げている。	終始原稿やスライドに書かれていることを読み上げている。
③		声量速度	知 技	声が大きく、話す速度が適切で極めて聞き取りやすい。	5に満たないが、声の大きさや話す速度が適切で聞き取りやすい。	声の大きさや話す速度がおおむね適切である。	声の大きさや話す速度が一部不適切なところがある。	声の大きさや話す速度が不適切で聞き取りづらい。
④		表現力	主 体 的	聴衆の反応を確認しながら発表し、自信にあふれた魅力ある発表をしている。	聴衆の反応を確認しながら発表している。	聴衆の反応を時折確認しながら発表している。	聴衆の反応をほとんど確認せずに発表している。	聴衆を見ずに発表し、自信や意欲が感じられない。
⑤		時間	知 技	規定時間±15秒である。	規定時間±30秒である。	規定時間±1分以内である。	規定時間±1分30秒以内である。	規定時間±1分30秒以上である。
⑥		内容	レベル	思 判 表	レベルが高い。 (高校での学習を超えた内容)	レベルがやや高い。 (現学年の学習を超えた内容)	レベルが標準的である。 (現学年の学習程度の内容)	レベルがやや低い。 (高校生未満の学習内容)
⑦	質疑応答	積極性	主 体 的	全ての質問に的確に答えている。	全ての質問におおむね的確に答えている。	質問に答えているが、想定外の内容には答えに窮することがある。	質問に答えようとしているが、的確に答えられていない。	何も答えられない。 「今後の課題とします。」
⑧		内容	思 判 表	専門的・論理的な説明を行っている。	おおむね専門的・論理的な説明を行っている。	一部の情報が不足している。	情報が著しく不足している。	何も答えられない。 「今後の課題とします。」
⑨	研究の充実	SDGs	知 技	SDGsの観点から課題を積極的に解決しようとしている。	5には満たないがSDGsの観点から課題を解決しようとしている。	SDGsの観点から課題を解決しようとしているが、不十分な面がある。	SDGsの観点から課題を解決する姿勢が見られない。	SDGsの観点が入っていない。
⑩		計画性	思 判 表	目的や仮説に基づき具体的な研究計画が立てられている。	5には満たないが目的や仮説に基づき研究計画が立てられている。	目的や仮説は述べられているが、設定理由や検証の意義をより明確にする必要がある。	目的や仮説が述べられているが、設定した理由や検証する意義が不明瞭である。	目的や仮説が述べられておらず、研究目的も不適切である。
⑪		方法	思 判 表	研究目的を達成するために、検証方法や実験などに創意工夫を凝らしている。	5には満たないが、検証方法や実験などを工夫している。	おおむね目的に沿った検証方法や実験が考えられている。	目的達成のための方法が十分考えられていない。	研究方法が述べられていない。
⑫		考察	思 判 表	豊富なデータを分析し、適切に図表を用いて論理的な考察ができています。	5には満たないが、データ分析が適切で、結果に基づいた考察ができています。	データ分析がほぼ適切であり、結果に基づいた考察がおおむねできています。	データに不適切な部分があり、結果に基づいた考察があまりできていない。	データに不適切な部分が多く、結果を並べて主観的に考察しているだけである。